
瑠璃色物語?

西黄鯉 健尊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

瑠璃色物語？

【Nコード】

N9613J

【作者名】

西黄鯉 健尊

【あらすじ】

とある高校に通う高3の主人公―宮代一騎は、ある日の帰り道、武装集団に追われた少女を発見する。しかもその少女は実は神だった！？

一騎と神達が織り成すちょっぴり恋愛、でも大半はバトルの物語。

プロローグ（前書き）

どうも。西様伝説です。この作品は、神を中心に展開されていくバトルストーリーです。

家庭的事情で不定期更新になりますが、よろしくお願いします。

プロローグ

「あなたは、神を信じますか？」

突然、その少女は僕に問いかけてきた。

…それも、こんな現実的に考えれば確実に『絶体絶命』と言えるであろう非常に現実離れたこの状況下で、だ。

そう、今、僕とその少女の周りにはまるで鳥を、いや、珍獣を捕らえるかのように武装した人たちが囲んでいる、そんなありえないような状態なのだ。

…そして、あの質問だ。

神を信じる？そりやどいうことなんだ？たしかに今は神様に助けてもらいたいけどさ…。

「…急いでください。あなたは、神を信じますか？」

…急げ、と言われても…。

「一体どうして今、それも初対面の僕にそんなことを訊くのさ？」

「とにかく、です。あなたは、神を信じますか？」

理由になつてないじゃないか。…っていうか、それしか訊けないんですか、君は。

「って、そもそもなんで今、神を…なんて」

「質問を聞いている暇なんてありません！あなたは、神を信じますかっ？」

「うう…。あ、ああ、信じるよっ！！」

「ありがとうございます。」

「え？」

僕が信じると言った瞬間、彼女の両眼が美しい青色に輝きだし、彼女を中心に空間が歪み、気付けば

そこはまるで、ワープゾーンみたいな場所にいた。

そして、彼女はさっきよりも大人びた口調で話した。

『私の名は、ルリ。ルリ・アルセント・フィレッタ。8 創造神第

8番。そう、神。』

どうやらさっきの少女は神様だったらしい。

「ええっと、ル、ルリ？ここは、どこ？」

『ここは私の領域^{デリトリ}。先程の場所に、あと3分ほど戻ってしまいましたが…。』

「3分！？あんまり時間ないじゃん！っていうか、なぜ3分！？」

『^{サックチュアリ}聖域ではないから、です。そして私が、目覚めたばかりだから、です。』

「な、なるほど…。で、この後どうするの？もう戻っちゃうんでしょ？」

『…あなたに、力を。そして、私と共に…。』

「へ、へえ。あ、もしかして、超能力とか？」

『少し、違います。』

「じゃあ少しは当たりなんだね。で、私と共に、の続きは？」

『永久に、共にいて欲しい。』

「……。ゴメン、よく聞こえなかったんだけど…。」

『永久に、共にいて欲しい。と言いました。』

な、なんて事だ。これじゃまるで、告白じゃないか。

だが、そうも言ってられないようだ。この空間に亀裂が入ってきている。つまり時間がもうないみたいだ。

「…わかった。今は時間がなさそうだから、とりあえずこのくらいにしよう。」

『ですが…。』

「今は目の前のピンチを切り抜けるのが優先。だから…。」

『……。そうですね。行きましょう。あなたに、力を…。』

ルリがそう言った瞬間、空間は弾け飛び、さっきの場所に戻っていた。

ただ一つ違うこと。それは僕の手に青く光る剣が握られていることだった。

「…いいですか？今のあなたは身体能力が大幅に上昇しています。」

「つまり、反射神経とかが良くなってるって事だね？」

「はい。…来ますよ！私は向こうを！」

「じゃあ僕はこっちを相手するよっ！！！」

そう言った直後、武装集団と僕らの闘いは開戦した。

……………これが、僕とルリの馴れ初めだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9613j/>

瑠璃色物語？

2010年10月9日05時01分発行